

リニア中央新幹線計画について考えるつどい 日本共産党学習会（レジメ）

2017・9・24

【学習会の主題】

日本共産党黒田支部は、「リニア問題」を通して、地域の政策づくりを追求していきます。

○2012年5月18日の日本共産党の声明のポイント

「リニア新幹線の建設に反対する一東海道新幹線の地震・津波対策、大震災の鉄道復旧こそ」の中心点は、リニア新幹線建設事業に「大義がない」、「必要性がない」ということ。採算性、自然・環境破壊、安全性、電力浪費など。

《資料》①上記声明、②16年10月「つどい」記録の抜粋、③その他

【第一の問題提起】

○日本共産党の政策と、市民運動のめざす方向が接近してきています。

大会決定等で解明している、自民党政治の特質である「二つの異常」に対する正面からの批判が、市民の中に広がっています。「日本共産党を除く」という「壁」の崩壊。

- ・戦争法「安保法制」撤廃 — 安保条約の廃棄(安保条約・自衛隊に対する見方)
- ・原発再稼働反対(安全基準の遵守、避難計画の整備) — 「原発ゼロの日本」へ
- ・消費税10%引き上げ反対 — 「消費税にたよらない別の道」財源提案

【第二の問題提起】

○共産党の政策の重要ポイントは、地域社会の活力を向上させ、地方の経済を実際に好循環に持っていけるのは、どっちの政策か、という問題です。

大会決定での経済政策の中心点(民主主義革命)は、闘いの争点として、第一「税金の集め方の改革」、第二「税金の使い方の改革」、第三の「働き方の改革」、そして、第四として「産業構造の改革」をあげています。自民党政治のままでは、解決しない問題です。

「第二」の中に「軍拡や大型開発中心の予算にメスを入れ、社会保障、教育、子育て支援など格差と貧困の是正につながる予算を増やす。」となっていて、この「大型開発」の代表例の一つが「リニア新幹線計画」です。

「第四」では、「鉄道の地方路線の廃止が地域経済の衰退と疲弊をさらに加速している」「リニア新幹線建設を中止し、……」の指摘があります。「第四」の表題は、「産業構造の改革」大都市と中小企業、大都市と地方などの格差是正」です。ここが自民党政治との対決点です。

【第三の問題提起】

○日本共産党の、リニア政策、また1960年代からの地域開発問題等での政策活動の発展に、興味のある方は、是非、参考文献をお読みください。(裏面)

裏面

《27回党大会決定「抜粋」》2017年1月

第四 産業構造の改革 — 「大企業と中小企業、大都市と地方などの格差是正」

大企業と中小企業では、労働者の賃金に大きな格差がある。事業所規模で見ても、中規模事業所（従業員30～99人）で大企業の6割、小規模事業所では5割程度となっている。

大企業と地方との格差拡大、地方経済の疲弊も深刻であり、日本社会と経済の大問題になっている。農業では、2000年代に入ってから、総生産額がマイナス7.3%、農業所得はマイナスと17.3%と、生産が減り、それをけるかに上回る規模で所得が減っている。地域経済を支えている中小企業、農林水産業の困難と衰退は、輸送、商業、加工などの関連産業の苦境にもつながり、地域経済の衰退に拍車をかけている。

—— 中小企業を「日本経済の根幹」に位置づけ、中小企業の商品開発、……

—— 農産物の価格保障・所得補償を抜本的に強化し、安心して再生産できる……

—— 地域振興策を「呼び込み」型から、地域にある産業や企業など今ある地域の力を支援し、伸ばす、「内発」型に転換する。公共事業を大型開発から、地域循環・生活密着型に転換する。再生可能エネルギー開発に本格的に取り組む。

—— 鉄道の地方路線の廃止が地域経済の衰退と疲弊をさらに加速している。その一方で、リニア新幹線には、採算性も環境破壊の影響もまともに検討されないままに、9兆円もの巨額が投資されようとし、政府もJR東海に3兆円の財政投融資を用意した。リニア新幹線建設を中止し、国が鉄道をはじめ地方公共交通を確保するために責任を果たすことを求める。

—— 最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律最低賃金制を確立する。

《共産党雑誌・著作》

『議会と自治体』2016年1月号「リニア中央新幹線問題を考えるつどい」の記録

『前衛』2017年9月号「鉄道のあり方を考えるシンポジウム」上岡直見／本村伸子

『前衛』2017年4月号

「国鉄分割民営化から三十年を検証する－JRは国民の足に帰ったか」高瀬康正

『前衛』2017年1月号「リニアに3兆円の公金投入やめよ」本村伸子

『前衛』2016年11月号「異端のリニア中央新幹線は必要ない」橋山循治郎

『前衛』2014年12月号「リニア中央新幹線一着工強行は許されない」辰巳孝太郎

不破哲三 新版「政策活動入門」2014年↓2月 新日本出版社

《その他雑誌・著作》

『日本の科学者』2016年9月号

どうなる？リニア中央新幹線－その必要性、採算性、安全を科学の目で考える

『日本の科学者』20↓4年10月号 超伝導磁気浮上式「リニア新幹線」の徹底解剖

～文明論、基礎技術、環境保全、経済などの視点から

橋山纏治郎「リニア新幹線 巨大プロジェクトの真実」2014.4年3月 集英社新書